### NPO 連携事業

## ①「まちの力」調査への参加

2008年2月29日世田谷の駒澤大学深沢校舎で「まちづくり」に関するイベントが三つ同時に開催され、まちづくりに関係する人、興味のある人が一堂に会しました。一つめは世田谷トラストまちづくりシンポジウム「まちの小さな、新しい公共空間をつくろう〜地域共生のいえづくり」、二つめは"まちの力"フォーラム2008IN世田谷「考えよう!地域をつなぐ"まちの力"」、三つめは「NPOフェスタ2008世田谷」で、ハウスは"まちの力"フォーラムをお手伝いしました。

当日はヒアリングした団体同士がそれぞれの団体の共通点や、ある団体からある団体への呼びかけなど"こんなネットワークが世田谷を変える!"と感じたことを短冊に書き、会場に設営されたパネルを毛糸でつなげるクモの糸ネットワークの模式図をつくりました。実際にまちの力が見えたわけではありませんが、張られた毛糸の一端に私たちも参加している、まちの中にさまざまに糸をめぐらせることで、まちを丈夫にしていけばいいのだと実感できたような気がしました。



#### ②世田谷区住まいまちづくり相談

「住まい・まちづくり住宅相談ネットワーク」は、世田谷区の相談事業、住宅街づくり総合相談を担当する世田谷区 NPO 法人3 つで作っている団体です。

住まいの困った!を、まちづくりに関わる建築士としてアドバイスしていくこと目的にしています。

相談は経費をいただきます。その後、工事が必要になった際は各 NPO が責任の持てる業者を紹介したり、 監理を請け負ったりします。

耐震偽装事件、また、最近の不況で、建築を取り巻く状況はますます厳しくなっており、困り事も深刻なものが多くなってきています。建築を計画する主体である建築士は業者や専門家に任せきりにするのではなく、知識を持ち、選択には責任を持って臨むことが必要な時代になったと思います。

# 専門性提供事業

# ①全国建設研修センター

# 専門性提供事業—今まで蓄積したまちづくりのノウハウを活かし、主に 玉川田園調布以外でまちづくりのお手伝いをしています

# ①全国建設研修センター 『官民協働のまちづくり研修』

今回の3日間のテーマは、1日目が『三鷹市の参加と協働のまちづくりに学ぶ』として、三



鷹市長を昨年に引き続き講師として迎え、三鷹市の市民参加の最新事情について学びました。2日目は、『豊田市の共働のまちづくりに学ぶ』をテーマに豊田市の協働事業提案制度を検証しました。最終日は、昨年と同様会場を玉川地域に移して『コミュニティのガバナンスを考える』と題して玉川まちづくりハウスの活動を報告し検証しました。

会場の確保に関して宮本三郎記念美術館に全面的な協力を得ることができたことは、今年の研修事業の大きな成果の一つです。

#### ■ NPO 法人玉川まちづくりハウス■

運営委員長 伊藤雅春

運営委員 林泰義 平松陽一 五十嵐實 佐藤百合子

監事 植村攻 前田浩雄

事務局スタッフ 小西玲子(運営委員) 林美湖 吉見千晶 池田麻未 柴田希美絵 製作 2008 年 12 月 1 日

# NPO法人玉川まちづくりハウス 2008年度活動報告

〒 158-0085 東京都世田谷区玉川田園調布 2-11-10 TEL:03-3721-8699 FAX:03-3721-8986 http://www.tamamati.com E-mail:tamamati@q06.itscom.net

# 2008 年度トピックス

#### ハウス企画ネットワーク事業

- ・みどりのコモンズ
- ・子育て支援活動

#### 9月30日現在

ご寄付 1,048,146

# 世田谷区樹木移植費用

助成金 100,000

セブンーイレブンみどりの基金

助成金 364,000

世田谷区子ども基金

助成金 171,400

# 2008 年度トピックス

<del>\</del>

# ハウス企画ネットワーク

# ■みどりのコモンズ

NPO 法人玉川まちづくりハウス(以下ハウス)の活動している地域は世田谷区の中でも良好な住宅地です。しかし土地売買と建物建設のたびに貴重な緑は失われていく現実があります。この事態を何とかするため、宅地のみどりを共有財産=コモンズと考え、"みどりを次代に継ぐ"仕組みをつくろうというのが「みどりのコモンズ」です。2007年度、その第一歩として玉川田園調布バス停前の建物建て替えの際に庭のケヤキを残すための寄付金を集める活動を始め、今年度移植費用目標額100万円を達成することができました。ご寄付いただいた方、ありがとうございました。工事中にケヤキを移植した際に世田谷区の新しい制度、樹木の移植費用助成金を申請し、栄えある第一号に選ばれました。新しい建物はケヤキの木をシンボルとしてKEYAKIGARDENと名付けられ、2008年10月に竣工しました。

また、コモンズの考え方を理解していただきご寄付を集めるために、 さまざまな分野の先生をお招きし、6回にわたる連続講座を開催し、 たくさんの方に参加していただきました。

この活動に対して 2008 年 5 月、セブンーイレブンみどり の基金より助成金をいただき ました。

今後も基金の仕組みをみな さんとともに考えていきたい と思います。



竣工した KEYAKI GARDEN 前のケヤキの木

# ■子育て支援活動

近年の少子化、核家族化の進行に伴う家族形態の変化や、都市化の 進展に伴う近隣との人間関係の希薄化など子育てを取り巻く環境は大 きく変わりつつあります。ハウスでもこの地域のニーズに合った子育 てを応援したいと考え、今年度は他の地域の子育て団体を視察に行っ たり、絵本の読み聞かせの会や公園での外遊びなど実際に活動を始め ました。

また、4月に世田谷区子 ども基金助成事業の助成 を受けました。

<del>\</del>



プレーカーでの外遊び

.

#### 地域協働事業

#### お手伝い事業

①玉川田園調布住環境協議会

- ②楽多の会
- ③クラシック音楽を楽しむ会
- ④安全・安心まちづくり
- ⑤ねこじゃらし公園

#### ネットワーク事業

- ①みどりのコモンズ
- ②子育て支援活動
- ③社会資源発掘
- 4おしゃべりハウス
- ⑤バザー

#### 企画・調査事業

1) 園田邸

#### 情報発信事業

- ①ハウスニュース
- ②ホームページ
- ③冊子販売

#### NPO 連携事業

①「まちの力」調査への参加

#### 地域協働事業―世田谷区玉川地域を対象に活動しています

## お手伝い事業

それぞれの活動が発足するときの支援活動を行いました。その活動を担う人材が 別に現れて活動資金も別に調達し独立していくことが、ハウスの活動の特徴です。 今は事務局作業の一部を支援しています。

#### ①玉川田園調布住環境協議会・・・事務局担当

玉川田園調布地域に良好な住環境を維持保全するために地区計画によ る建築規制を実施してから8年が経ちました。この間80件を越える 建て替えや増築の申請がありました。

協定内容の確認と敷地内の緑化を事業者にお願いすることを主に、計 画確認チームが取り組んできています。玉川まちづくりハウスは、住 環境協議会の事務局を担っています。

今回、風致地区地域の建物の後退距離の制限を、改めて地区計画と して設定する改定を中心とし、地区計画の内容をいくつか修正するこ とになりました。

まちづくりと一言で言いますが、まちが変化していくスピードは、 植物の成長のようにゆっくりとしたものです。変化が目に見えるもの になるのに、10年や20年といった時間は決してながいものではあ りません。しかし、この変化を実現するためにはそこにまちの意志が なくてはなりません。個人の意見ではなく、まちの意志が必要なので す。まちの意志がないまま10年を経過することと、まちの意志を持っ

相が全く異なるものになります。 その意味で、住環境協議会の活動は、 重要です。



変わっていくまちなみを確認するための

#### ②地域の福祉を考える楽多の会・・・事務局担当

今年度、楽多の会では2007年7月に始まったアニマルセラピーを3 回実施しました。アニマルセラピーとは動物介在療法といい、動物を 介してひとの病気の治療を行うもので、癌研付属病院にも取り入れら れ、癌の痛みに苦しむ方々をなぐさめています。

会員の神田敦子さんのご紹介で国際セ ラピードッグ協会の大木代表にご協力い ただき実現することになりました。

毎回たくさんの方が参加してセラピー 犬とのふれあいを楽しんでいます。

また、アニマルセラピーの費用を捻出 するため、神田さんのヨガ講座のほか、 ビーズネックレスやレイキなど会員のみ なさんが自分の特技を提供し協力してく ださっています。



#### 調查事業

地域の資産を地域の暮らしに活かす事業 CAM (コミュニティ・アセット・マネジメント)

# ① 園田高弘邸の継承と活用を考える会プロジェクト

「園田高弘邸の継承と活用を考える会」は、国際的ピアニスト故園 田高弘の自邸の活用を通じて、日本の代表的建築家故吉村順三の住宅 建築と音楽との響き合う空間の継承をめざすことを目的とし、2008年 夏に誕生しました。

1955年に竣工したこの建築は、その後、吉村門下の建築家小川洋 の設計により増築され、園田高弘終世の住まいの場となりました。い まも此処にお住まいの園田春子夫人が、高校時代の同級生で近在のド キュメンタリー映画作家 藤原智子さんに、この家の世代を超えた継 承について話されたことから、地域のまちづくりに係わる有志が集い、 会を発足させました。

この会は、集いによって建築空間と音楽の魅力を楽しむと共に、こ の場所の継承に関心を寄せる方々のネットワークを広げ同時に、建築 空間継承の方法を見出すことを主な活動方針としています。

来年度は「園田高弘邸 - 音楽と建築の響き合う集い」と題したサロ ンコンサートを2カ月に1回程度行う予定です。





# 情報発信事業

# ①ハウスニュース

毎月月末に会員向けニュースを発行しています。ニュースで取り上 げる内容はハウスの活動紹介のほか、特集に関連した記事を掲載して います。今年度は特に力を入れている子育て関連の記事が多くなりま した。「ニュースで紹介された施設に行ってみた」「ニュースを見てイ ベントに参加した」などの声も聞かれうれしく思っています。1月新 年号では子育て特集として初の座談会を設け、近所のお母さんたちの 生の声を直接聞くことを企画しました。

もう一つの活動の柱であるみどりのコモンズは「みどりのコモンズ 通信」というニュースを発行することにしましたので、みどりの関連 の記事は主にそちらでお知らせしています(4ページ参照)。



# ②冊子販売

今年度新しい冊子の発行はありませんでした。 「ねこじゃらし公園の10年」「地区計画とまちづくり 協定のつくり方」の2冊のブックレット、2006年度 に発行したマンガ本「玉川まちづくりハウスな日々」 も好評発売中。

今年度収入 331,000

# ③ホームページ

先年度デザインを一新したホームページ、コンテンツもますます充 実し、みどりのコモンズ、子育て支援のページも追加されました。 活動内容やイベント開催はトップページでお知らせしています。 ホームページを見て・・・というお問い合わせが増えてきました!





監督の藤原智子さんを招きして開催した 映画会『ベアテの贈り物』

#### ③社会資源発掘事業『宮本三郎記念美術館と地域の会』

地域通貨運営委員会で取り組んできた地域の人材発掘を目的とし た講座事業が、竹内修司さんという人材を得て『宮本三郎記念美術 館と地域の会』として発足しました。宮本三郎記念美術館の全面的 な協力により、地域からの企画提案による講座室の活用の道が開か れたわけです。このことは美術館開設以前に地域で開催されたワー クショップで問題提起されて以来懸案になっていたテーマでもあり ました。これまで美術館企画として開催されていた「音広場」に加 え「人広場」の2つをコンセプトに、地域の豊かな人材を活かして いく予定です。第1回として藤原智子監督作品『ベアテの贈り物』 の映画上映会を5月11日に開催することができました。

# 4 おしゃべりハウス

さまざまな分野の専門家のお話を聞くおしゃべりハウス、今年度は2007 年10月20日、シティ・エコヴィレッジのペオ・エクベリさんと相根昭典 さんに持続可能な住まいづくりについてお話を伺いました。お話の一部を ご紹介します。

「私たちは循環型社会の実践の先駆けとして、人と地球に優しい"自然住宅 の集合体"の形成を目指しています。これまでも、資源循環型な住居を建 ててきました。計画地内に家庭菜園を設け、自立した生活を支援し、風力 とソーラー発電で光熱費を減少させ、トイレも徹底的に循環、再利用の輪 の中でつくれます。脱塩ビで廃棄後のダイオキシンも発生しません。自然 **シティ・エコヴィレッジの構想でつ** 素材を活用し、かつ有害な化学物質を徹底的に排除することにより、安全 くられた「きのかの家」(町田市) で快適な住宅をつくってきました。それは可能なのです。」



# ⑤バザー

2008 年 5 月 18 日にデイ・ホーム玉川田園調布で第 5 回玉川まちづく りハウスバザー&すい一つパーティーが行われました。今年度は子育て 支援をしていることもあって、子どもコーナーを設けてみたところ、お 母さんについてきた子どもたちが一生懸命に品定めをする姿が印象的で した。

今回は第2会場として、カフェえんがわにて「すい一つパーティー& 私の好きなまちなみ写真展」を企画しました。「住宅地のみどりを守る試」 み~みどりのコモンズ~」のことを知っていただくことを目的に、みど りのコモンズに関する展示と、募集した写真の展示をした店内で、奥沢 在住のお料理研究家・森井千春さんが作ってくださったケーキとお茶を 楽しめるスペースを作りました。こちらはバザーのことを知らない方に も多数来ていただいたようで、甘いものには力があるなぁ…と感じまし た。ご協力いただいたみなさまありがとうございました。







# バザー会計報告 <収入>

合計

売り上げ 297, 301 寄付 かすたねっと 11, 510

北村+新井 1,550

310, 361

バザーの売り上げは みどりのコモンズ連続講座の 講師料として使わせて いただきました。

#### ③クラシック音楽を楽しむ会・・・ハウスとの情報交換

「音害のこと」

毎月のクラシック音楽を楽しむ会やその準備のために我が家から出す音で、 ご近所が迷惑しているのではないかといつも気になっている。夏でも室を密閉 して外に音が漏れないように注意しているが、それでも妻は外に出て「門の外 からも聴こえる」などと心配している。私は「別に悪いことをしているのでは ない」などと言い返しながら内心ではやはり心配しているのである。

LPやCDを再生するメカニズムは近年飛躍的に発達したが、それでも生演奏 には遠く及ばない。でも音量や音質を調整してなんとか生演奏の雰囲気に少し でも近いものを聴きたいと思うのも自然である。特に、交響曲やオラトリオな ど大規模編成の曲は、或る程度までの音量を出さないと生演奏の雰囲気に近づ けるのはとうてい無理である。

家庭でも音楽を楽しみたい。しかし、「音害」はできるだけ避けたい。実に悩 ましい問題である。

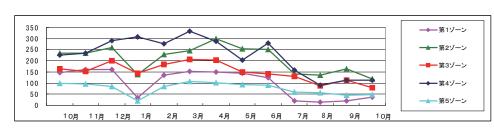
クラシック音楽を楽しむ会主宰 植村 攻



# ④安全・安心まちづくり(防犯パトロール)

この1年の玉川田園調布地区内で発生したひったくりは2件、空き巣は5件でした。一年間で起きた被害 として多いか少ないかはわかりませんが、住んでいるものとして現実を知りたいと思うのではないでしょう か。警察は知らせてはくれません。

防犯パトロール活動の4年間を振り返る意味で、町会員全員を対象としたアンケートを実施しました。190 世帯以上の方から回答を得ることができました。結果については全戸に配布する予定です。「地域の絆再生支 援事業」へ応募し助成が決定しました。懸案である小学校との連携が実現することを期待しています。



平成 17 年 10 月から平成 18 年 10 月までの防犯パトロールの実績表

#### ⑤ねこじゃらし公園・・・活動参加

相変わらず、謎のゴミが捨ててあった り、秘密基地が掘られていたり、ヤゴ池 にザリガニが放たれたり…しているねこ じゃらし公園ですが、今年も4月に14 才のバースデイを開催し、大勢の子ど もたちに参加してもらいました。来年は 15 周年をむかえる公園、例年よりもた くさんのイベントを用意してバースデイ をお祝いする予定です。その準備をもう 始めています。



#### ネットワーク事業

他の団体とネットワークすることで広がりを持ったり、こちらが企画して人と人との 結びつきを深めようという事業です

# ①みどりのコモンズ

住宅地のみどりを守る活動として先年度から始まったみどりのコモンズですが、今年度はさらにコモンズの考え方を広め理解していただくために、6号の通信を発信し(2007年8月~2008年8月)、「まちを楽しもう」と題した6回連続講座を企画しました。連続講座は来年度も続いて行われます。



参加者 70 名 収入 61,900 支出 20,000 収支 41,900

# 連続講座1 すい一つパーティー

5月18日に開催された玉川まちづくりハウスバザーの第2会場としてカフェえんがわをお借りし、ケーキを販売して4万円ほどの売上となりました。収益の一部はみどりのコモンズの基金として使われました。

会場にはコモンズとハウスの活動 を説明するパネルを展示し、同時開 催企画として募集した「私の好きな まちなみ」写真を飾りました。

### 連続講座3 パテ作りを習おう

7月28日、「パテ作りを習おう」の講座が、玉川田園調布2丁目のパテ屋さんのキッチンで開かれました。この講座はパテ屋の林のり子さんの「みどりのコモンズのため何かお役に立ちたい」との申し出で実現したもので、講師料はそのままコモンズにご寄付いただく形となりました。参加者は女性10名男性1名の11名で、林さんに「今までにこんなに大勢の人がこのキッチンに立ったことはない」と言わしめるほどの大盛況。「生ゴミはなるべく濡らさないように紙に包んで捨てる。いらない広告紙を適当な大きさに切ってキッチンにストックしておく。キッチンで油のついたヘラなどは紙を敷いて置くと片付けがラク」など、随所に手際のよい仕事の進め方のポイントをはさみながら、レバーの下処理の仕方から丁寧に教えていただきました。後日できあがったパテをいただいたら本当に美味しかったと、何人もの参加者の方がおっしゃってくださいました。



参加者 7名 収入 3,000 支出 5,832

収支 -2,832



連続講座2 みどりの力を識ろう

6月14日、(財)世田谷トラストまちづくりの小出仁志さんをお招きし、世田谷トラストまちづくりの活動と世田谷のみどりの実態についてお話しいただきました。



# ②子育て支援活動

今年度から子育て支援活動を本格的に始めることになりました。まずこの地域に合った子育て支援とは何かを探るため、すでに世田谷区で活動している子育て支援団体や一時預かりの場などをいくつか見学に行き、お話を聞きました。

#### [取材先]

2007.10 コミュニティカフェ "ぶりっじ" (下北沢) ベイビーオアシス (自由が丘)

2007.11 読書空間「みかも」ちいさな図書館(奥沢) 子育て支援センター「ぴっぴ」(等々カ)

2008.2 子どもソーシャルワーカーグループすくらんぶる(自由が丘)

2008.3 のざわテット―ひろば(野沢)



✓ のざわテットーひろば▼すくらんぶる



# ■絵本の読み聞かせの会「おおきなかぶ」

ハウスとして取り組めることは何かと考え、子どものための絵本の読み聞かせの会を始めました。お話は尾山台図書館を中心に活動している「おおきなかぶの会」の田中さん、松沢さんが協力してくださることになり、場所は読書空間みかもや町会の和室をお借りしました。3月から9月までの間に計5回、7月からは第1土曜日の午前中と決め定期的に行っています。この活動が定着していくよう、来年度も継続して取り組んでいきます。



#### ■プレーカーでの外遊び

世田谷区の子育て支援では先駆的な活動をしている KOPA の矢郷さんからノウハウを教えていただき、遊具を積んだ小さなかわいいリヤカー (プレーカー)を使った外遊びの活動を行いました。3月から7月まで計7回、場所は遊具のない公園、環八沿いのぽかぽか広場を選びました。毎回楽しみに来てくださる固定ファンの方も。いろいろなお母さんのお話をお聞きしましたが、共通の悩みは"安心して遊ばせられる児童館のようなものが近くにない""情報交換する場がない"ということでした。ハウスがそのような情報交換の場になれるよう、活動を続けたいと思います。



# 2008 年度年間スケジュール

\*そのほか運営委員会、ニュースレターの発行、世田谷区の住宅相談などを毎月行っています。

<sup>2007</sup> 10	11	12	<sup>2008</sup> 1	2	3	4	5	6	7	8	9
		■視察:騎西町	★子育て座談会		~~~~	★住環境協議会総会	★バザー コモンズ 連続講座①	インマンズ マンモンズ ・連続講座②	★官民協働 まちづくり研修 コモンズ 連続講座③		
おしゃべり ハウス no.21		★ハウス総会 &パーティー			おおきなかぶく	(おおきなかぶ)	★宮本美術館映画	プレーカー	★宮本美術館映画 おおきなかぶ	おおきなからご	おおきなかぶ
まちのカネットワー	<u> </u>  -ク   -	***************************************	***************************************	まちの力 ※※※ フォーラム			プレーカー	プレーカー	プレーカー		

 $oldsymbol{4}$